



れんごう下越

日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会
957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内
TEL 0254-26-3705 ・ FAX 0254-26-0556

第 143 号

2018.4.15

発行人
福井 正史

1部5円
購読料は会費に
含

En la union
Esta la
fuerza

団結こそ力

連合下越地協 2018 年春闘取り組み

～すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！

「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！～



五泉支部激励訪問



新発田支部・阿賀野支部決起集会



村上支部単組代表者会議



高橋村上市長申し入れ



井畑胎内市長申し入れ



下妻副市長申し入れ

連合下越地協 2018 春季生活闘争取り組みについては、各支部が順番で連合新潟会長・事務局長の激励訪問を実施しています。3月15日、五泉支部役員が連合新潟小林事務局長の激励訪問を受け、五泉支部の中小地場労組と闘争状況について意見交換を行いました。3月19日、胎内市役所で「2018 春季生活闘争に関わる要請書」を井畑明彦市長に提出しました。連合胎内支部から富樫支部長、佐藤副支部長、渡辺宏行市議、薄田智市議、下越地協久志田事務局長が出席し、10項目について要請を提出しました。

3月20日、連合新発田支部と連合阿賀野支部は「2018 春季生活闘争中小地場総決起集会」を開き、構成組織・加盟組合から120人の組合員が集結しました。各構成組織を代表し官公部門、民間部門より2名の方から決意表明頂きました。集会終了後、デモ行進を行いシュプレヒコールで市民にアピールしました。

自治体要請行動

3月26日(月)高橋村上市長(星野支部長、加藤事務長)

3月27日(火)下妻副市長(石井支部長、栗原副支部長)

単組代表者会議・春闘交流集会

4月5日(木)胎内支部(小室副会長、久志田事務局長)

4月5日(木)村上支部(小林連合新潟事務局長)

連合下越地協第 89 回メーデー

平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう！

働く者のための働き方改革をすすめ、

すべての仲間と結集しよう！

テーマ「格差根絶！！長時間労働撲滅」

開催地区	開催日	時間	参加予定	式典会場	デモ行進	内容
村上	4月29日 (日)	9:30	300人	村上市 瀬波体育館	○	式典・プラカード審査 お楽しみ抽選会
胎内	4月27日 (金)	18:30	300人	胎内市 産業文化会館	×	式典 お楽しみ抽選会
新発田	5月1日 (火)	10:00	450人	新発田市 市民文化会館	○	式典・プラカード審査 抽選会・単組紹介
阿賀野	4月29日 (日)	10:00	100人	阿賀野市 瓢湖水きん公園野 外ステージ	×	※雨天時は福社会館 式典・ビンゴゲーム・豚汁
五泉	4月28日 (土)	10:00	300人	五泉市 総合会館中ホール	○	式典・プラカード審査 お楽しみ抽選会
東蒲原	4月28日 (土)	10:00	80人	阿賀町 文化福社会館2階	×	式典・単組紹介 抽選会

「メーデー」ってなに？

ゴールデンウィークの頃になると、毎年ニュースで取り上げられる「メーデー」。全国で10万人以上が参加する大イベントですが、その起源は意外に知られていません。メーデーは、英語で書くと“May Day”。古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきましたが、始まりは1886年の5月1日、アメリカのシカゴで、1日12～14時間勤務が当たり前だった労働環境の改善を求めて労働者がゼネラルストライキ（全国的な規模で行われる労働争議）を起こし、8時間労働の実現を要求したことに由来します。

以降、労働者たちが集まり、権利を主張する日として、ヨーロッパをはじめ各地に広がったのがメーデーです。今では5月1日を「労働者の祭典」として祝日とする国も多く、この日は世界中で労働者たちのイベントや、デモ行進などが行われています。